

第6学年 社会科授業案

1 単元名 豊橋空襲 ～戦争を知らないわたしたちにできること～

2 目標

- ・日中戦争や太平洋戦争、豊橋空襲に関わる歴史遺産に関心を持ち、すすんで調べようとしている。
(社会的事象への意欲・関心・態度)
- ・豊橋大空襲について調べたことを他の地域で起きた空襲と比較したり、関連づけていたりして、強化された戦時体制や敗戦によって国民生活が大きな影響を受けたことを適切に表現することができる。
(社会的な思考・判断・表現)
- ・文化財、地図や年表、戦争を体験した人の話などの資料を活用して、必要な情報を集めて読み取ることができる。
(観察・資料活用・技能)
- ・戦時体制の強化や敗戦によって国民が大きな被害を受けたこと、地域にも大きな損害を与えたことを理解することができる。
(社会的事象についての知識・理解)

4 単元構想図 10時間完了 (本時1/10)

戦争は知っているが、自分たちの暮らしている豊橋市の戦時中の様子を知らない子どもたち

※教師の支援 ○留意点 ☆評価

豊橋市にある戦争遺跡を見てみよう① (本時)

- ・豊橋のどこが空襲されたのかな。 ・いつごろ起きたのかな。
- ・他の町も空襲されたのかな。 ・記念碑が最近できたのはなぜかな。
- ・どうして豊橋が空襲されたんだろう。

自分たちの住んでいる町でも、戦争による空襲の被害があったんだね。

戦争中の豊橋はどんな様子だったんだろう③～⑥

どのように戦争が起こって、世界に広がっていったのかな。③④

戦争が続くと、人々の生活はどのように変化していったのかな。⑤⑥

【日本の様子】

- ・日本は資源を得るために、中国と戦争を始めて、他の国も侵略していっただね。
- ・当時の人も景気が良くなると思っ

【日本の様子】

- ・戦争が世界に広がって、長く戦争が続いたよ。
- ・学徒動員や集団疎開が行われるなど、一般の人の生活も戦争によって制限されるようになったよ。

【豊橋の様子】

- ・歩兵十八隊は、豊橋から中国に出征していたよ。
- ・写真を見ると、出征のとき豊橋駅にはたくさんの人が集まって見送っているね。

【豊橋の様子】

- ・貧しい暮らしで配給制になったけど、それでも苦しい生活だったよ。
- ・子どもも軍の工場で働くようになったよ。

豊橋は、軍の街として栄えていたけど、長く続く戦争で子どもも働くほど苦しい生活をしていたんだね。

どうして豊橋が空襲されたんだろう⑦⑧

- ・豊橋だけでなく、浜松や東京など他の都市も空襲されているよ。
- ・武器の工場や軍の練習場があったからじゃないかな。

- ・長崎や広島では原子爆弾が落とされたよ。
- ・アメリカは日本の戦力を減らそうをしていたんじゃないかな。

武器の工場や一般市民をねらった空襲や原爆によって、日本の戦力も底をついて、終戦となっていったんだね。

どうして空襲から50年後に記念碑が建てられたんだろう⑨⑩

- ・豊橋には記念碑のほかにも戦争に関する遺跡が残されているよ。
- ・50年経った今でも、空襲の恐ろしさを伝え続けている人があるんだね。
- ・豊橋で空襲があったことを、忘れたらいけないと思うよ。

豊橋空襲をこれからも伝え続けていかななくてはならないね
戦後の豊橋はどうやって今のような街になったんだろう

※豊橋空襲に関する資料を提示することで、豊橋でも戦争の影響があったことを視覚的に理解させる。
○今後調べていく学習問題を学級全体で共有し、確認する。

☆どうして豊橋空襲が起きたのか疑問を持ち、すすんで調べようとしている。

○個人で疑問を追及していけるよう、一人調べカードを用意する。
○日中戦争や太平洋戦争と関連づけて考えることができるよう、戦争の広がりについての独自資料を配付する。

※調べ学習が苦手な児童が積極的に取り組みやすくするために、調べる要点を示した資料を配付し、友達と相談しながら調べ学習ができるような環境を整える。
○当時の人たちの手記を読んだり、動画で実際の証言を聞いたりすることで、戦時中の暮らしを理解させる。

○事実を調べただけで終わらないようにするために、教師が一人調べカードに朱書きをしたり、対話をしたりすることで、より深く追求できるようにする。

☆資料から、戦時中の苦しい暮らしについて理解することができる。

○自分の考えを発表するときには、資料からわかる根拠をもとに発表できるように指導する。

※資料から根拠つけて発言できるようにするために、一人調べカードに参考にした資料を記録する欄を作り、記入させる。

○毎時間、自分の考えたことやわかったことを振り返りとして記録する。

☆資料から、豊橋が空襲された理由を日中戦争や太平洋戦争を関連づけてまとめることができる。

○豊橋の戦争遺跡マップから、今も豊橋に戦争遺跡が壊されずに残されていることを確認する。

○日本の年齢別人口のグラフを提示することで、戦争を経験している世代が年々少なくなっていることに気づかせる。

☆記念碑が残されている理由を話し合い、自分たちにこれからできることを考えることができる。

自分たちの暮らしている豊橋で起きた空襲について関心を持ち、
先人たちの思いを受けとめ、戦争について、後の世にも伝えていこうとする子どもたち

5 本時の授業

(1) 目標

- 豊橋空襲やその背景にある戦争について関心をもち、意欲的に疑問を考えようとしている。
(社会的事象への意欲・関心・態度)
- 豊橋も長く続いた戦争の影響を受け、大きな被害が出たことを理解することができる。
(社会的事象についての知識・理解)

(2) 展開

時間	学 習 の 流 れ	言語活動を意識した場面 ※教師支援 ○留意点 ☆評価
0	『戦争』について知っていることはあるかな。	○戦争のイメージや知っていることを自由に発言させることで、戦争について関心をもって取り組めるようにする。
8	戦争当時の様子や豊橋の戦争遺跡を見てみよう。 豊橋空襲の資料を見て、気づいたことや考えたことを話し合おう。   ・街が焼けて、建物も崩れているよ。 ・真ん中の女の人も苦しそうな顔をしているよ。 ・空襲のあとの写真かな。 ・石に平和と書いてあるよ。 ・碑文を読むと、624 人が空襲で犠牲になったんだね。 ・空襲から 50 年以上が経っているんだね。 豊橋でも戦争中に空襲があって、多くの人が犠牲になったんだね。	○予備知識として、これから学習する戦争は、日清・日露戦争以降の日中・太平洋戦争のことを指すことを確認する。 ○豊橋の写真であることは伏せて資料を提示することで、戦争が自分たちの身近な地域でも起きていたことを示唆する。 ※自分の考えを自信をもって発言することができない児童には、教師が朱書きをすることで自信をもたせる。 ○できるだけ多くの疑問を考え、まとめやすくするために、疑問カードを用意しておく。
25	『戦争』や『豊橋空襲』について、調べたいテーマを考えよう。	☆戦争について関心をもって考え、疑問を発表することができる。(発言・ワークシート) ※感想が書けない児童には、机間指導での対話や、友達の振り返りの発表をもとに考えさせる。
40	本時の振り返りをしよう ・豊橋でも、戦争による大きな被害があったなんて知らなかったな。 ・豊橋空襲や戦争についてこれから調べていきたいな。	☆本時を振り返りながら、豊橋でも戦争の影響があったことを理解することができる。(学習記録)

(3) 評価

- ・ 豊橋空襲についての疑問をもち、意欲的に調べようとするができる。(発言・ワークシート)
- ・ 写真などの資料から、豊橋も空襲で大きな被害が出たことを理解することができる。(学習記録)